

ちょっとした工夫でできる

知って得する マネー術

Part. 2

貯蓄編

前回ご紹介した節約編を実践したら、次は「貯める」を考えてみましょう。お金を効果的に貯められる銀行の選び方やお得な積み立て方法、そして貯めたお金を殖やすための資産運用方法についてもご紹介します。

監修 **保田隆明**

構成文／ホンダサトル イラスト／猪原美佳 デザイン／大久保正幸事務所

お金があるとついつい使ってしまうのは人情。「給料が残ったら貯めよう…」では、いつまでたっても預金残高は寂しい状態のままです。お金を貯めるためのいちばんのコツは「貯めるクセ」をつけること。例えば、月々の給与から一定額を貯蓄や定期預金、積み立てに充て、残った金額で毎月をやり繰りする。ことで、少しずつでも確実に貯蓄を殖やすことができるのです。このような地道な積み重ねが、5年後、10年後には大きな実りとなります。

では、具体的にはどのように貯めればよいのでしょうか？ 最も手軽な貯蓄方法は銀行預金ですが、超低金利が続くなか、そのメリッ

トは低いように思われがちです。しかし、銀行の選び方次第では意外なほどに利息がつくことも。

銀行以外で、少額でも手軽に貯められる方法が各種の積み立てです。デパート積み立てや旅行積み立てなどは、一般的な銀行の積み立てに比べて驚くほどお得な仕組みがあります。

さらに、ただ「貯める」だけではなく「殖やす」ための、お金の運用も検討したいもの。もちろん運用である以上、「元本割れ」というリスクはありますが、「始めなければ殖えない」とは間違いありません。無理のない額からスタートして運用のセンスを磨いていき、お金の強い体質をつくりたいものです。



ほうだ・たかあき ● 小樽商科大学ビジネススクール准教授。大学での研究、教育のほか、テレビ、ラジオなどメディアを通じたビジネス・金融の柔らかく解説、執筆業も行う。社外役員就任歴延べ20社以上。『いちばんやさしいファイナンスの本』(日本能率協会マネジメントセンター)をはじめ、多数の著書がある。

円高の今は 外貨預金が狙い目?

日本円を外国のお金に換金して外国の金利で預金する外貨預金。一般的に預金に比べて高い金利が魅力的ですが、もし今よりも円高が進めば実質的にマイナスとなるリスクがあります。半面、円安の局面になれば比較的短期間で大きなリターンが期待できることも。

その一方、デフレが続く状況では銀行預金の魅力度も捨てがたいものです。例えば去年に比べて物価が1%下がれば、表面上の金利はほぼゼロでも、1%の利息がつくのと同じ効果が期待できるのです。

銀行を 上手に 使って 貯める

ポピュラーですが、どの銀行を選ぶかがポイント。また、外貨預金という方法もあります。

100万円預けた場合の外貨預金金利の例 (三菱東京UFJ銀行ホームページより)

外貨の種類	預金時の為替レート	外貨利率	満期時点の為替レートと受取金額								
			円高			変わらない			円安		
			満期時の為替レート	実質利率	受取金額	満期時の為替レート	実質利率	受取金額	満期時の為替レート	実質利率	受取金額
米ドル	1ドル=77円	0.01	¥73	-5.19	¥948,128	¥77	0.01	¥1,000,080	¥82	6.50	¥1,065,020
ユーロ	1ユーロ=105円	0.13	¥101	-3.71	¥962,838	¥105	0.11	¥1,000,970	¥110	4.87	¥1,048,635
イギリスポンド	1ポンド=125円	0.1	¥121	-3.12	¥968,774	¥125	0.08	¥1,000,800	¥130	4.08	¥1,040,832
オーストラリアドル	1ドル=79円	1.87	¥75	-3.62	¥963,750	¥79	1.52	¥1,015,150	¥84	7.94	¥1,079,400
ニュージーランドドル	1ドル=61円	1.23	¥57	-5.63	¥943,723	¥61	1.00	¥1,009,949	¥66	9.28	¥1,092,732
スイスフラン	1フラン=86円	0.01	¥82	-4.64	¥953,573	¥86	0.01	¥1,000,089	¥91	5.82	¥1,058,234

金利はすべて2011年11月29日時点



ネットバンクは 意外とお得

店舗やATMを持たず、インターネットでのオンライン取引に特化したネットバンク。従来の銀行に比べて人件費や設備投資が抑えられるため、一般的には預金金利が高くなるように設定されているのが特徴。また、一般的な銀行よりも振り込み手数料が安く、提携しているコンビニATMでは現金引き出しの手数料がゼロのものもあり魅力的です。

主なネットバンクと従来の銀行の金利比較

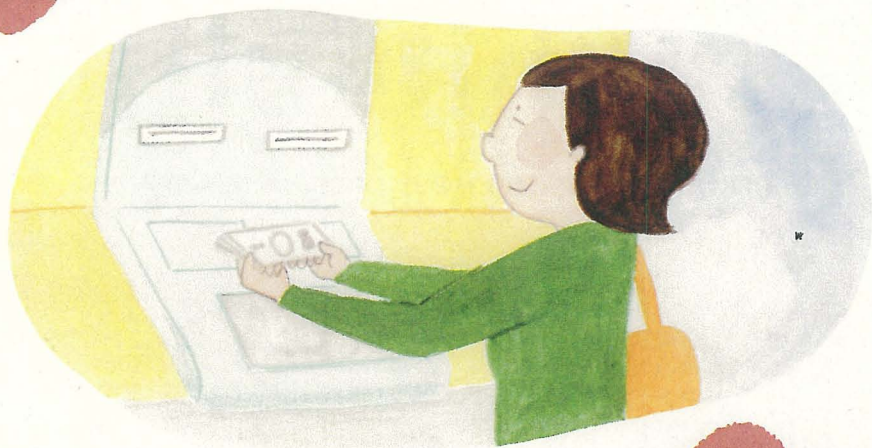
	ネットバンク					従来の銀行		
	スルガ銀行	大和ネクスト銀行	ジャパンネット銀行	セブン銀行	楽天銀行	三菱東京UFJ銀行	三井住友銀行	みずほ銀行
普通預金	0.04	0.12	0.06	0.05	0.03	0.02	0.02	0.02
6カ月定期	-	0.25	0.15	0.07	0.13	0.02	0.02	0.05
1年定期	0.23	0.3	0.18	0.1	0.17	0.02	0.02	0.05
3年定期	0.02	0.4	0.22	0.15	0.21	0.05	0.05	0.08

積み立てを駆使して貯める

銀行や会社、デパートなど
さまざまな積み立て方法を知ること
で、有益な貯蓄ができます！

財形貯蓄は活用するのが○

勤務している会社に財形貯蓄の制度があるなら、ぜひ利用しましょう。一般財形、住宅財形、年金財形の3種類があり、住宅財形と年金財形は本来の目的のために使うのであれば、550万円まで非課税です。一般財形では、通常の銀行預金と同様に利息の20%に対して課税されます。



自動積立預金で確実に貯める

給与の振り込み先になっている普通預金口座から毎月コツコツと自動的に積み立てていけるのが自動積立預金です。財形貯蓄と同様に給与天引きシステムなので、手間をかけずに確実に貯めることができます。

しかも、一定期間が過ぎるとその時点でより金利の良い定期預金に移行されます。ボーナス時の増額や途中での引き出し、ATMでの随時預け入れなどにも臨機応変に対応してくれるのうれしいポイントです。

マイホームがまだなら、とりあえず住宅財形を選ぼう

住宅財形は、その名のとおり住宅購入のための積み立てです。目的外の利用には利息の20%に対して税金が発生しますが、一般財形でも課税されるのは同様ですので、とりあえず住宅財形を選ぶほうが、賢い選択といえるでしょう。

さらに、財形貯蓄を一年以上続けて、残高が50万円以上ある場合は、住宅取得の際に財形住宅融資という公的ローンを受けることができます。融資限度額は貯蓄残高の10倍で、最高4000万円までです。既に住宅を購入済みの人には、年金財形がおすすです。



とってもお得なデパート積み立てを使おう

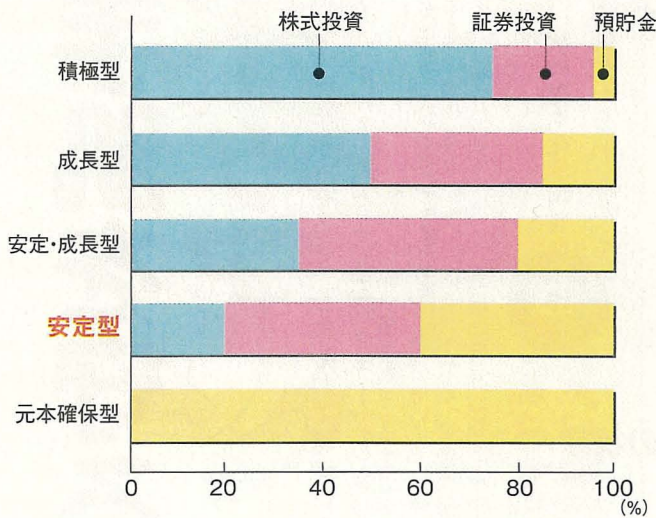
銀行以外にもお得な積み立てがあります。その代表選手がデパートや旅行会社の積み立て。例えば、毎月一定額を口座引き落としでデパート積み立てをする
と、1年後には1カ月分が商品券などで還元されます。仮に毎月1万円を積み立てれば、1万円×12カ月＝12万円＋1カ月分ボーナス1万円となつて、年換算で8.3%にも！ しかもこの利息は課税されません。



まずは**安定型**で
手堅く始める

貯蓄が軌道に乗ったら、一歩踏み込んで積極的に殖やすこと、つまり投資についても考えた方がいいです。とはいえ、貯蓄と違い元本割れというリスクを伴うため、運用できるお金をすべて投入するのはおすすめできません。世界有数の資産運用会社・フィデリティによる5つの分類（下図参照）のうち、投資初心者にとって最適なものが「安定型」です。まずは、このバランスから始めてマネーセンスを磨いてみてはいかがでしょうか。

資産運用の5つのタイプ



無理のない投資で お金を殖やす

貯蓄でお金を貯めることができるようになったら、証券会社などに相談し、殖やすことを考えてみてはいかがでしょうか。初心者は無理のない範囲で行うことが大切です。



投資初心者に
おすすめのETF

投資信託という言葉をご存知の方は多いでしょう。その投資信託のうち、証券取引市場で売買されるものがETFです。日経平均や電機業界株、銀行株に連動して値段が動くものなどいくつかのETFが売買されています。通常の投資信託に比べて種類は少ないですが、手数料が安く手軽に始められる点が魅力です。

株式投資の 特徴を学ぶ

個人での投資で最もポピュラーなものが株式投資です。自分の資産状況に応じてさまざまな銘柄を選ぶことができ、読みが当たれば大きなリターンを得ることも可能です。しかし、株価が上昇トレンドであってもピークがいつになるのを見極めるのはプロでも難しいといわれています。

一方、下降トレンドの場合は、元本割れを覚悟で売るか、再上昇に期待して持ち続けるかを判断しなくてはなりません。「風が吹けば桶屋がもうかる」のように、一見関係のないような経済状況・社会状況が反映されるのが株式市場ですから、さまざまなニュースにアンテナを張っておくことが必要となります。

「FX」ってよく聞けれど...

FXという資産運用方法をよく目にしますが、実際にはどんなものなのでしょう？ 簡単にいえば、外国為替の変動を利用したハイリスク・ハイリターンな投資です。実際に保有している投資資産の何十倍もの取引が可能のため、少額でも大きなリターンが得られる可能性があり、人気を集めています。

しかし、為替の変動によっては全資産を一瞬で失うこともあり、ある意味ギャンブルに近いリスクが伴います。

